



子育て学級



両親学級



ぽけっとで相談

第1章 充実した支援

安心と笑顔を育む

子育ての不安や経済的負担などを少しでも減らし、子育てに夢を持って理想のライフスタイルを実現してもらうため、市では、子育て世代へのさまざまなサポートを行っています。

独自の充実した支援

市の調査によると、子育て中の人が特に不安に感じているのは「子育てで出費がかさむこと」です。子育てにかかる経済的負担を軽減するため、市では独自の支援をしています。

●乳幼児紙おむつ給付

0、1歳の子どもを対象に、毎月3千円分の乳幼児紙おむつ購入券が支給されます。県内でも実施している自治体は少なく、子育て世帯に好評の支援です。

●出産祝金の給付

第2子の出産時に10万円、第3子以降の出産時には20万円の祝金があります。

●第3子以降保育料などを無料化

第3子以降の保育料や副食費、学校給食費が無料です。

「笑顔で子育て」を目指して

妊娠・出産・育児は、かけがえのない貴重な時間を与えてくれる一方で、初めての経験に戸惑いや不安を感じることもあります。市では、子育てを楽しむためのサポートとして、各種教室の実施や相談窓口を開設しています。

●子育て世代包括支援センター

ぽけっと

保健師や助産師が、妊娠・出産・子育ての相談を受け付けています。また、

子育ての段階に応じて利用できるサービスの案内や、一人一人の状況に合わせた情報を提供しています。

●両親・子育て学級

妊娠期から子育て期に必要な知識を学び、同年代の子どもを持つ家族と交流できます。教室には両親で参加でき、一緒に学ぶことで助け合う関係を築くことができます。

●離乳食教室

食事や栄養に関することも、子育てでの悩みの一つではないでしょうか。離乳食の進め方や調理のコツなど、食の基礎を学べる教室です。

仕事と子育ての両立をサポート

急な仕事が入ったときやリフレッシュが必要などときに、安心して子どもを預けられる環境があることは重要です。市では、さまざまな形態で子どもを預けられるサービスを提供しています。

●ファミリー・サポート・センター

子育てを手伝ってほしい人と手伝いたい人が会員となり、地域で子育てを助け合う事業です。子どもの送迎や預かりなどに利用できます。

●病児保育施設の拡充

病気の回復期の子どもを預けられる病後児保育施設があります。それに加え、令和6年11月には、病気中的の子どもも預けられる病児保育施設が、イオンタウン旭内にオープンしました。



Family Interview

家族の声を集めました

子育て家族が語る、旭市の魅力と支援

子育て世代が安心して暮らせるまちづくりを目指す旭市。ここでは、両親学級を通じて仲良くなった3家族に、子育て環境やサポート体制についてインタビューしました。



佐藤雅史さん、
美樹さん、
朱莉ちゃん

今後に生かせるサポートと交流の場

両親学級や子育て学級に夫婦で参加しました。沐浴実習や救急法など、子育てに役立つ知識を学ぶことができ、その場で相談ができるのも良かったです。教室の開催前には市から連絡が来るので、サポート体制も整っていると感じました。両親学級でパパ友ができ、今でも情報交換をしています。



佐々木優さん、
陽子さん、
悠成くん



穴澤壮登さん、
由起さん、
龍空くん

見守られている安心感の中で子育て

ぽけっとやハニカムを利用しています。ぽけっとでは、赤ちゃん全戸訪問で来てくれた保健師さんがアドバイスをくれるので、不安も和らぎ母子共に精神的に良い影響を受けています。また、産後のケアがあり、何かあった場合でも医療と連携したサービスを受けられる環境が整っていると思うと、心の支えになります。

充実した支援と、伸び伸び子育てが魅力的

紙おむつ購入券や、おひさまテラスのような子どもと過ごせる施設があるなど、近隣のまちと比べて支援が充実していると感じます。今後も子どもの成長に合わせたサービスが、さらに充実することを期待しています。また、冬でも散歩ができる温暖な気候や、豊かな自然の中で育てられる環境があるのも、魅力の一つです。

